

# 令和4年度 保育園の自己評価

駒岡保育園  
令和5年 3月

## テーマ 『 職員も子どももわくわく毎日遊びが楽しい環境構成 』

### <目標設定のきっかけ>

令和3年度は「一人一人を大切にする保育」と「チャレンジしたくなる環境づくり」を目標設定し1年間取り組んできました。取り組む中で、それぞれの発達段階を理解することが大事だと再確認するとともに、「これでよいのかな」と保育に悩みを持つ職員もいることに気づきました。今年度も環境をテーマに職員間での保育観のすり合わせを引き続き行い、発達に応じた環境構成と関わり方を職員全体で考え、子ども1人ひとりが十分に発揮できる保育目指していきたいと考えました。

### <中間振り返り>

職員全体で園内研修として、環境構成を中心にドキュメンテーションやグループワーク等を行い、子ども理解を深めることで、環境構成の重要性を改めて感じ、それぞれのクラスの見直しを行うことが出来ました。ドキュメンテーションを通して、職員間の会話も広がり、その後の様子を伝えあったり、学んだことを自分のクラスに取り入れたり自然と保育が広がっていきました。また、保護者の方にも観覧してもらえるようにドキュメンテーションを掲示することで、日頃の保育の様子を詳しく伝えることが出来、保護者との会話を深めることも出来ました。

### <年度末振り返り>

3項目に分け、KJ法を用いて職員全体で発表を行いました

1. 一年の振り返り、
2. 良かった点、工夫した点
3. 反省や感想、次年度に向けて



・保育者の意見では、室内外の子ども達への遊びの材料を提供し、レイアウトや季節によっての環境配慮ができたこと等、多くの意見が出ました。そして、環境の中には物だけではなく保育者自身も環境の一部との認識を持つことで、保育者は子どもがやりたい気持ちを次に繋げるきっかけづくりを保育の中で意識することが大切だと気付きました。

・栄養士、調理師の意見では、安全衛生や整理整頓、在庫管理の明確にすることの改善に努め、季節のメニュー、新しいメニュー等工夫し食事の時間が楽しくなるように取り入れました。課題としては、同じような献立が続いたり、全体的に苦手なメニューの組み合わせになることもあったので今後も工夫しながら、子どもに寄り添うための方法や実施をして楽しい給食となるようにしていきたいと思えます。

### <まとめ>

職員がわくわくできる環境構成は子どもにしっかりとつなげると気付きました。「明日はどんな発展するかな」「これを取り入れたら遊びはどうなるかな」と大人が毎日の保育が楽しく保育に向かうことで、子どものさらなる意欲が広がる環境を作り出し、子ども達のわくわくを生み出すのだと思えます。今後の課題としては、使用物の後片づけ(整理整頓)をすることや準備時間の確保、時間の活用、遊びの継続等を見直し、また話し合い等を設け次年度に繋げていきたいと思えます。